

■株式会社レナウン「『日本のビジネススーツ』に関する外国人意識調査」結果

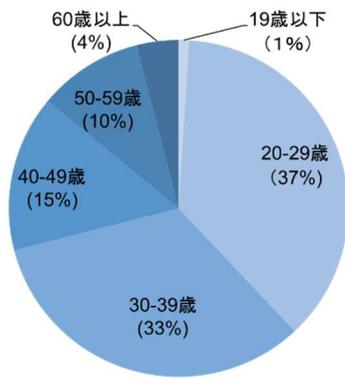
実施期間：2019年3月1日（金）～3月22日（金）

調査対象：Tokyo Weekender 読者を中心とした英語話者の外国人/合計回答者数 600名

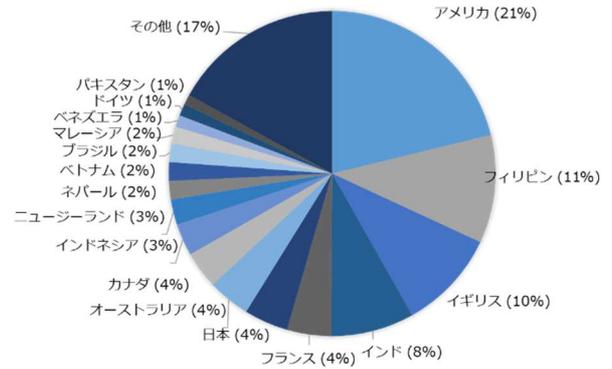
調査方法：Survey Monkey システムを利用した WEB アンケート

調査実施：ENGAWA 株式会社

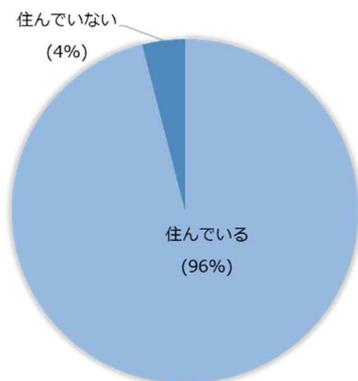
Q.あなたの年齢は？



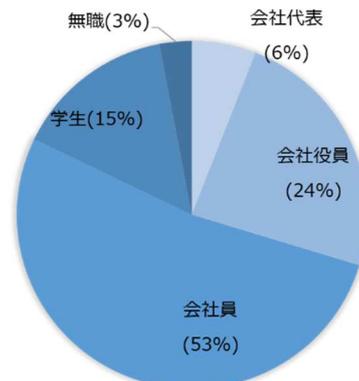
Q.あなたの出身国を教えてください。



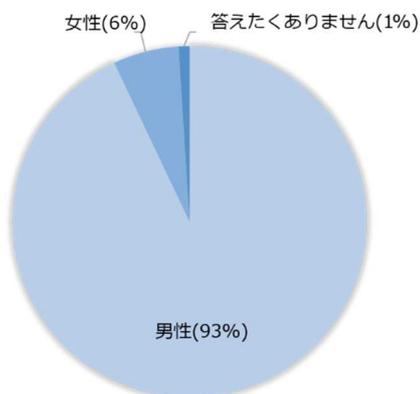
Q.現在日本に住んでいますか？



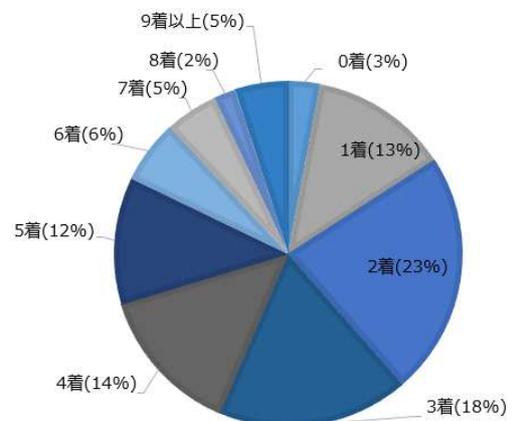
Q.あなたの職業を教えてください。



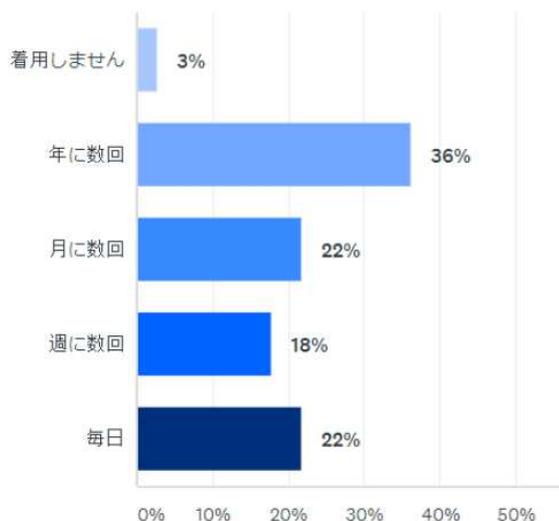
Q.あなたの性別を教えてください。



Q.あなたはビジネススーツを何着所有していますか？



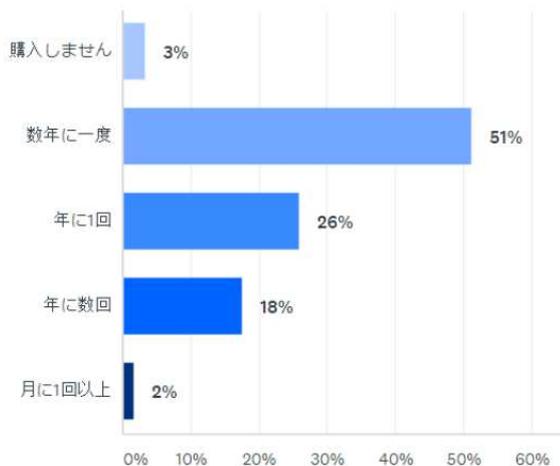
スーツの着用頻度 - 「年に数回」が36%でトップ。「毎日」「週に数回」が4割



Q.あなたはどれくらいの頻度でビジネススーツを着用しますか？

この質問では「年に数回」の回答が全体の36%でトップ。次いで「月に数回」「毎日」がともに22%となった。毎日、毎週という高頻度でスーツを着用している外国人は全体の4割にとどまり、オフィス内ではリラックスできる服装で仕事をし、外出時やアポイント時にスーツに着替える文化の国が多いことを反映する結果となった。

スーツの購入頻度 - 「数年に一度」が約5割でトップ

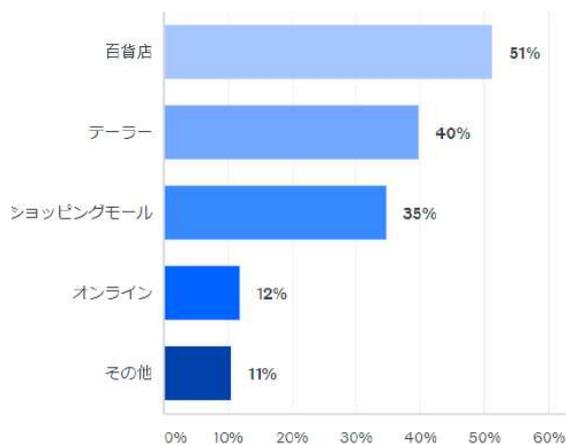


Q.あなたはどのくらいの頻度でビジネススーツを購入しますか？

この質問では、「数年に一度」の回答が全体の約5割でトップ。次いで「年に1回」が26%、「年に数回」が18%となった。

「良いものを長く愛用する」といわれる欧米文化を反映してか、スーツは頻繁に購入していないことがわかった。

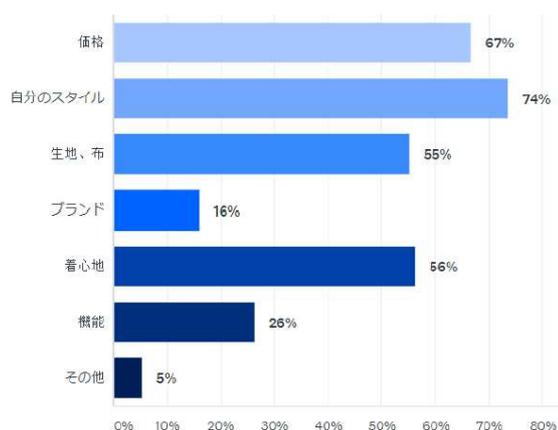
スーツの購入場所 - 「百貨店」「テーラー（オーダーメイド）」で購入する人が多い



Q. あなたはどこでビジネススーツを購入しますか？

この質問では、百貨店やテーラーで購入する人が多い一方で、自由回答では「自国で購入する」という声も多く、「どこで買えばいいかわからない」という背景がみえる結果となった。

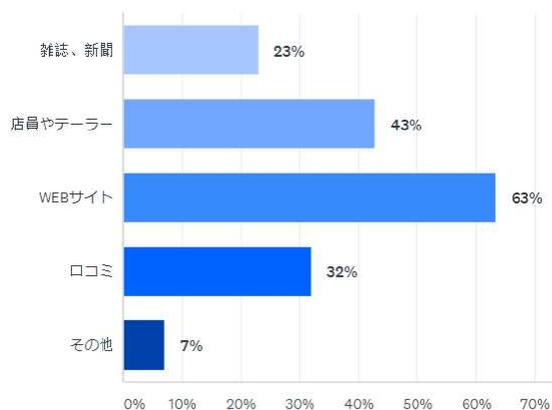
スーツ購入時に重視すること - 「自分のスタイル」「生地・布」「着心地」



Q. あなたは新しいビジネススーツを購入する際に何を考慮しますか？

この質問では、外国人にとっては何より自分のスタイルを表現できるか否かが重要だということがわかった。自由なファッションを楽しむ志向と、衣服を自己表現ツールとして捉える外国人が多いことがわかった。

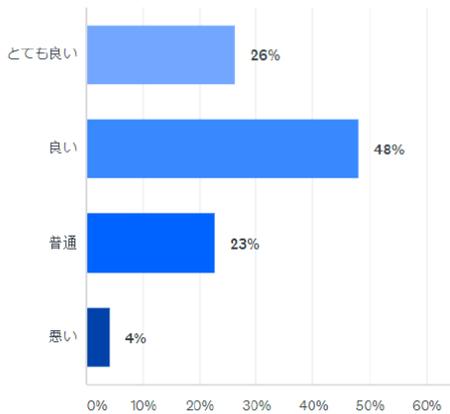
情報の入手 - 「店員やテーラー」「口コミ」など人からの情報が重要な判断基準



Q. あなたは何で情報を得ていますか？

この質問では、「WEB サイト」に次いで、「店員やテーラー」「口コミ」が上位にきた。店員やテーラーなどの専門職をはじめとした「口コミ」が重要な情報源となっていることがわかった。

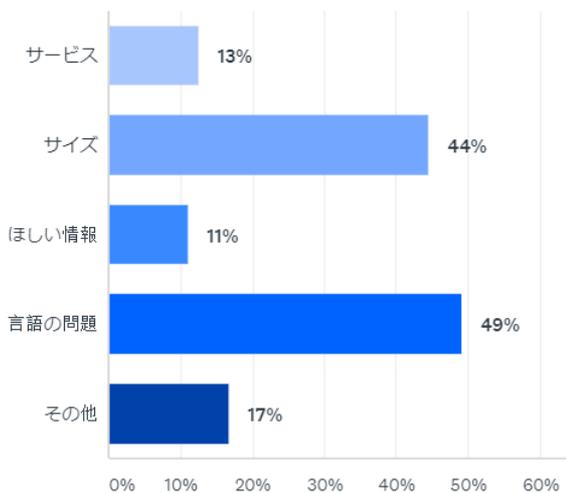
日本製のスーツについて - 「良い」「とても良い」と好感を持つ人が7割以上



Q.あなたは日本製のスーツについてどう思いますか？

この質問では、「良い」「とても良い」と好感触を示す人が全体の7割以上。外国人にも日本製のスーツは評価されているといえる結果となった。

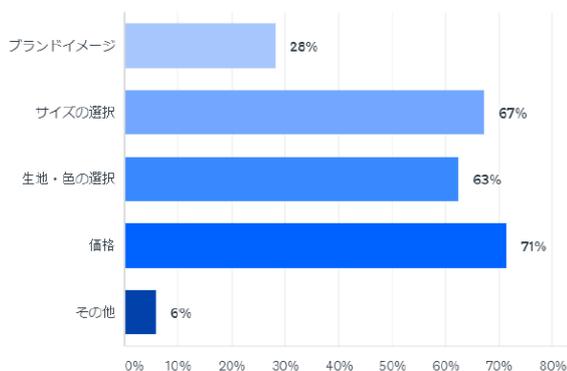
日本でスーツを購入するときの問題 - 「言語の問題」が約5割、続いて「サイズ」が44%



Q.あなたは日本でスーツを購入する際に何か問題がありましたか？

この質問では、「言語の問題」に次いで「サイズ」が44%とサイズを問題に考える外国人が多いことがわかった。また情報収集をするにも言語の問題があり、満足に情報収集ができないということがわかった。

スーツの購入に役立つ情報 - 6割以上が「サイズを選択」



Q.新しいスーツを購入する店舗やブランドを決める時に役立つ情報は何か？

この質問では、「価格」に次いで「サイズを選択」についての情報が大きな影響を持っていることがわかった。自由回答からは、日本国内で購入したい気持ちはあるものの、外国人向けの店舗情報が少なく困っている人が多いこともわかった。